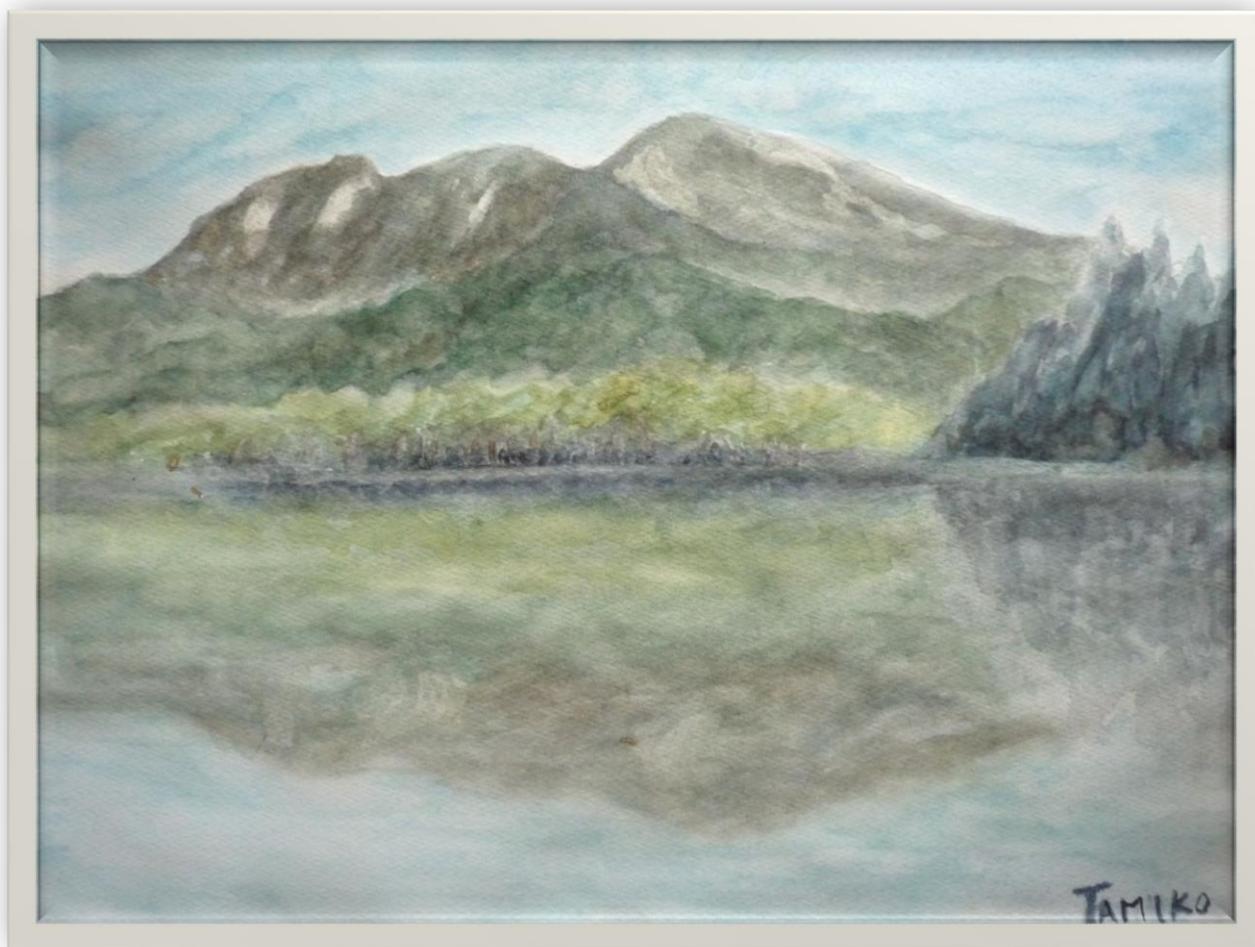




# 彩の山

埼玉支部報  
第32号





# 彩の山

埼玉支部報  
第 32 号

《表紙 「尾瀬沼に映える」竹内タミ子画》

《題字 松本敏夫》

【目次】

今年の登山は魅力がいっぱい！ 山行委員会	1	第3期埼玉やま塾参加者募集	高橋 努	14	
憧れの岩稜帯へ！ 轟 涼	2	竹内タミ子さんを悼む	橋本久子	15	
「岩トレに参加してみませんか？」		竹内タミ子さんを偲んで	朝井紀久子	16	
第7回大高取山自然観察会報告	渡邊嘉也	3	日本全国温泉巡り(第3回)	早川好治	19
第5回高尾GC森づくり研修報告	//	7	山の本棚シリーズ	小原茂延	20
忘年山行報告「城峯山」	林 信行	9	One Point アドバイス(その11)		22
新年山行・ウエルカム山行「官ノ倉山」報告	11		「春の山の楽しみ方」	平川陽一郎	
	中嶋信隆		新入会員 自己紹介	安斎久美子	22
埼玉支部山岳古道調査プロジェクト活動	13		2021年度埼玉支部年間予定表		23
	松本敏夫		事務局からのお知らせ		25

## 今年の登山は魅力がいっぱい！

山行委員会

皆様、昨年ほどなたも満足のできる登山を楽しめず、フラストレーションが溜まる日々を過ごされたことでしょう。そこで今年は山行委員会メンバーで知恵を絞って、魅力ある山行計画を取り揃えました。引き続きコロナ感染対策には注意を払いつつ、皆さんで大いに登山を楽しみましょう。

4月はまずは足慣らしです。東武東上線の下り電車の車窓から山並みの右端に望まれる手ごろで味わいのある笠山、堂平山に登ります。登山口では山桜が咲き誇り、堂平山頂からは遥か遠くに八ヶ岳の頭が霞んでいます。貸切バスを仕立てて大勢で賑やかに登りましょう。

5月は南アルプス前衛の鳳凰三山(薬師、観音、地藏)を縦走します。まだ純白の白峰三山(北岳、間ノ岳、農鳥岳)を飽かず眺めて大きく伸びをしてみましょう。

6月は新緑と残雪のまぶしい巻機山です。深田久弥が上越国境中一の名山と称した名峰です。宿泊する民宿雲天では、この時期とても食べきれないほどの山菜の御馳走が振舞われます。勿論、地酒も堪能できます。6月はもう一つあります。上高地の山岳研究所(JACが所有する山荘で河童橋から5分)に宿泊し、焼岳に登ります。食事は山行委員が腕を振ります。この時期、上高地のケシヨウヤナギの新緑は見ごたえがあり、心が洗われますよ。



7月の計画はユニークです。真昼岳？どこの山ですか。岩手県の隠れた名峰です。山行委員の中嶋会員の奥様のご実家が経営されている湯川温泉の高繁旅館(岩手県西和賀町)に投宿し、南本内岳と2山に登ります。たおやかな東北の峰で咲き乱れる花たちと戯れましょう。



真昼岳



仙丈岳

8月は北海道の山に登ろうと企画中です。北海道の山は素晴らしいですよ。登りたい山ありませんか。今なら希望をお聞きますよ。北海道支部の皆さんとの交流もできるかもしれません。

9月は深田久弥終焉の山・茅ヶ岳に登りましょう。中央線の車窓から「あつ八ヶ岳だ」と間違われるためニセヤツとも呼ばれます。百名山を目指す人なら一度は登っておきたい山です。

10月はよくご存じの甲斐駒・仙丈です。登りがいはありますが南アルプスの主役ですね。紅葉が素晴らしく、ひよっとすると冠雪もあるかも。11月はめったに行くことのない三重県・御在所岳です。名古屋弁や関西弁が飛び交っています。その他、春秋ののんびり平日山行や初心者向け沢登り、クライミングトレーニングなども計画しています。お楽しみにー！



甲斐駒ヶ岳

23 ページの年間予定表をご覧ください。

## 憧れの岩稜帯へ！「岩トレに参加してみませんか？」

会員(岩稜トレーニング担当) 轟 涼

岩場での3点支持を身に付け、8の字結びでロープをつなぐこと、カラビナとスリングでセルフビレイ(安全確保)を取ることで、確かな懸垂下降等ができるようになると、登山の幅が広がります。また、危険箇所をスムーズに通過できると、リスクを減らすことにつながります。

大山支部長に、山の話をついばい聞きながら、楽しく易しいクライミングを繰り返すことで、安全な登山を目指しましょう！

100名山も、憧れの槍・穂高・剣も目の前に？！

岩トレを行う東吾野の平戸の岩場は、登山靴でも登れる易しいルートがあり、高さも 10m弱で、登山靴やアイゼンで登る練習や、あまり恐怖を抱かずに懸垂下降の練習もできます。基本のロープワークも覚えましょう。



4月24日土曜日平戸の岩場で行います。詳しくは、会員メールとHPで確認してください。

参加条件：クライミング対応の山岳保険に加入とヘルメット持参

### 第7回大高取山自然観察会報告

自然保護委員会 渡邊嘉也

【実施日】2020年11月29日(日)

【場所】越生町大高取山

【参加者】

吉田寛治、大山光一、熊谷友昭、松本敏夫、龍久仁人、中村直樹、渡邊嘉也、横山真一、金丸一豊、高橋努、中嶋信隆、山崎保夫、東洋子、米山英三、轟涼、林信行、若林優子、生田祥子、浅井紀久子、松尾渡、(以上 JAC 会員)、

大室昌久、足立原章(一般)、石川久明(越生町教育委員会)

計 23 名

【観察会】

観察会の実行に際しコロナ感染予防のため、感染有無の一次検査で行われている体温を非接触型体温計で測定した。37°C以下を参加基準としたが全員この基準以下であった。各人の値は無症状患者発生時の追跡情報として10日間委員会で保管した(1月末時点で参加者のコロナ感染報告は無い)。実施に先立ち「古道調査を支部全員で行う準備を進めている。この観察会でも多くのことを



■登山道沿いのコナラ（小櫨）、クリ（栗）、アラカシ（粗榧）が痩せた桧に混じる森である。夫々の木の幹や葉の特徴を観察し、一本一本種名を確認する。越生神社の奥宮である高取山城跡（一般的には要害山）に予定より 30 分程遅れて着く。ここには二本のスダジイ（漢字なし）が神木として祀られている。この実（ドングリ）は食べられる。城の崖縁にアリドオシを見つける。赤い実はない。城跡を左に下り巻き道と合流した。この辺りからフユイチゴ（冬苺）が現れて来る。皆さん、口に入れる、甘くて美味しい。植林された桧や杉林の中ではアオキ（青木）をしばしば見るが、此処でも繁殖している。半陰樹のこの樹の下には草本は育たない。この樹を家の鬼門に置くと吉相を呼び込むと言われているが、山の草本にとっては鬼である。更に樹木（木本）や草（草本）の観察を続ける。

■ムラサキシキブ（紫式部）/ヤブムラサキ（藪紫）、サカキ（榊）/ヒサカキ（姫榊）、シデ（四手）/イヌシデ（犬四手）、サンショウ（山椒）/カラスザンショウ（烏山椒）、シオデ（牛尾菜）/サルトリイバラ（猿捕茨）よく似ているが種名が違うものの特徴などを学ぶ。またアズマネザサ（東根笹）から笹と竹の違い、葉に毒を持ち鹿も食べないミヤマシキミ（深山檜）、サルの手の手甲に似ているエンコウカエデ（猿甲楓）、タブ（榊）の木は香木で樹皮を粉末にし、白檀やジャコウ（麝香）を加え線香が出来ているなど日々の生活との関係を教えられる。メモや落葉をジッパーバッグに入れていく方もいる。

■枯れ葉のついた低木の名前はヤマコウバシ（山香ばし）、枝を折ると香ばしいのでこの名が付いたらしい。成熟した木は太陽の光の当たり方が弱まる冬は昼の時間も短く、葉から栄養を取れなくなり葉緑体が壊れるので水分吸収を止め落葉するが、この木はこの機能が出来てない未成熟な木の為、枯れ葉が残る。（添付のリストには載っていない）

■急な登りを 20 分程行くと本来なら地中にある石灰岩が露頭している大きな岩がある。地元では「白石様（しらいしさま）」と祀っている。地図の標高 324m の地点である。石灰石の表面にはウミユリ（海百合）の化石を見る筈であったが、記念写真撮影に気を取られて忘れ、昼食前の幕岩観察を変更し直接大高取山へ向かった。

■山頂は越生方面の視界を開くため樹木の一部が伐採されている。自然保護の立場からは展望の為の伐採は賛成できないが、伐採した樹木は先の大戦中に植林された桧などであり、大高取山にあった元来の樹木の再生場所と考えることにした。短めの昼食と記念写真撮影をし、幕岩へ向かう。

■この辺りからシダが多く見られた。正月飾りに使われるウラジロシダ（裏白羊歯）がチャート岩石の下に沢山生育している。続いてリョウメンシダ（両面羊歯）、ベニシダ（紅羊歯）等が観察できる。

■幕岩展望台からの眺望は素晴らしく、東から西へ筑波山、スカイツリー、池袋、新宿副都心のビル群などが一望できた。右の急な階段を巻いて降りると高さ 16、幅 3.6 m のチャートの大岩塊「幕岩」が現れる。チャートは海洋生物の殻や骨が堆積し、長い時間圧縮された為、非常に硬く火打石にも

使われている。因みに石灰岩は海底でサンゴ、貝殻、コウサン虫などが堆積して出来たものでセメント原料、製鐵、ガラス工業などの原料として使われている。

■幕岩から桂木観音への道は幾筋もある。分岐に桂木観音への道標は無く、先の班と続く 2 班は別の径を辿ってしまった。実踏の際には気が付いていたが、先頭の班に続く 2 班が別の径を辿ってしまった。分岐でトランシーバでも携帯でも連絡取れず、数日前に実踏した径をとったため、15 分程遅れ 2, 3 班は大高取山からの稜線で 1 班の姿を確認できた。

■これまで観察できた草木を確認しながら稜線を下り、20 分程で桂木観音に着いた。この観世音は元正天皇(女帝)の養老 3 年(719 年)に作られたという。由来等については興味深い記述がありますので詳細は資料②をご覧ください。

■コース最後の観察ポイント虚空蔵尊では丑と虎年の守り本尊の"寅と丑"の珍しい狛犬が我々を迎えてくれた。そして柚子と梅の林を出、穏やかな田園の中を終着地へ向かった。

■ベースの法恩寺は天平 10 年(738 年)僧行基が東国遊行の際、大日、釈迦、弥陀、薬師、観音の五体を発見し、これを祀り霊場の起こりと伝えられている。徳川将軍の時代には寺領 20 石の朱印を与えられた修験道場であった。子の権現にお参りし、大高取山で自然を観察し、修験の報告が出来た。充実した一日でした。

観察会終了 15 時 40 分



大高取山にて記念撮影

## 第 5 回高尾グリーンセンター森づくり研修報告書

自然保護委員会 渡邊嘉也

間伐によって林床植生の多様化がどれだけ進むのか、間伐後の自然推移によって針広混交林化が実現できるか調査するための“森づくり実地研修”の報告をします。

【日程】2020 年 11 月 14 日（土）～15 日（日）

【場所】高尾 GC が管轄する南高尾の山域（梅ノ木平国有林と隣接の民有林）

【参加者】7 名

龍久仁人（講師兼務）、横山真一、金丸一豊、東 洋子、松尾 渡、渡邊嘉也、大室昌久（川越市在住）

### 1、植樹

種：ヤマザクラ 21 本、カツラ 21 本

### 2、機材・装備（すべて高尾 GC が準備）

間伐用：ヘルメット、軍手、鋸、電動鋸（2 台）、なた、ロープ

植林用：唐鋤（トウグワ：関東ではトンガと呼んでいる）、鋸、篠竹、名札

### 3、講師

千谷恵子（高尾 GC）、加藤信夫（高尾 GC）、龍久仁人

### 4、間伐

#### 1) 目的

間伐によって林床植生の多様化はどれだけ進むのか、間伐後、自然推移によって針広混交林化は実現できるのかを調査するため、定点コドラートを設置し経年変化を観察する。（高尾 GC 薫風）

#### 2) 間伐の方法と時期

間伐の時期は、樹液流動が終わる（成長が止まる）9～3 月が良い、またこの時期は雑草や雑木が枯れ始め足元が良く判りやすい、蛇やスズメバチなども姿を現さないので危険度が少ないなどの理由。

#### 3) 間伐（14 日 10 時～12 時）

スギ伐採対象木周辺のアオキ、フジ、ジャケツイバラ等を取り除いて整理する→倒す方向を決める→ロープを設置→木に「受け口」をつくる（木の直径の 3 分の 1 を目安に 30～45 度の角度で切込みを入れる→「追い口」を途中まで入れる→ロープを引く→倒す→枝払いなど後片付け

#### 4) 地拵え、篠竹刺し（14 日 13 時～17 時）

植樹する苗木（カツラ、ヤマザクラ）42 本の植樹場所を定める。間隔は 3～3.5m → 苗木の成長を助けるため、植樹場所の枝除去や下草を刈る「地拵え」をする→ 植樹場所に篠竹を立てる。

#### 5) 植林と除伐・歩道整備（15 日 9 時～11 時）

仮伏せした苗木を掘り取り運搬→植樹地の篠竹の位置を 20～25 cm程掘り起こす→植樹→樹木名と植樹日、植樹者名を記した名札を篠竹棒につける。

植樹した周辺の場所（来年の植樹予定地）で除伐。除伐地内の歩道をトンガで整備→完了

**5、動植物の観察 (14日20時～22時、15日11時～14時)**

アブラチャン、ミヤマフユイチゴ、コウヤボウキ、ヒノキ、テイカカズラ、タラノキ、マタタビ、カラスザンショウ、ムラサキシキブ、ヤブムラサキ、クサギ、タブ、ウワミズザクラ、ハリギリ、チャノキ、エゴノキ、タヌキ (動物)

**費用**

5,000円 (内訳: 宿泊3,000円、食費2,000円 (14日夕食、15日朝食、昼弁当) 行事保険料を含む。)



間伐1



間伐2



植林地にて



植樹



歩道の整備



集合写真

2020 年度 忘年山行（城峯山 1,038m）報告

事務局長 林 信行

【実施日】2020 年 12 月 12 日（土）

【参加者】28 名

- 1 班 山崎保夫(SL)、稲越洋一、古川史典、高橋努、生田詳子、東洋子、今山健、高橋和美、大山光一、金丸一豊、横山真一、
- 2 班 米山英三(SL)、渡邊嘉也、宮川美知子、松本浩、中嶋信隆、橋本久子、朝井紀久子、渡邊泰子、吉田寛治、
- 3 班 林信行(L)、浅田稔、小野康子、鴨志田隼司、野口勝志、坂倉理恵、松本敏夫、清登緑郎

【行程】西門平登山口—城峯山—西門平登山口

今年度 2020 年度の忘年山行は城峯山（1037.7m）でした。今年 4 月に総会記念山行、10 周年記念山行として予定されていた山ですが、新型コロナ感染拡大により止む無く中止となり、忘年山行としてリベンジです。

9 月より支部の月例山行も細心の注意を払って実施されはじめ、忘年山行の実施もおっかなびっくり。例年の忘年山行は宿泊ありで 10 数名の参加ですが、今年は皆さんコロナ外出自粛での爆発か？なんと 28 名の参加です。

慎重にコロナ対策をとり、3 班に分れガイドラインを遵守しながら行動開始。



皆野駅 10:20 集合、町営バスと乗用車組にわかれ西門平登山口集合。西門平登山口 11:10 登山開始。しばらく杉林の中を歩き鐘掛城山頂に到着。歴史を感じさせる名前です。



急な階段を下りやがて石間峠。ここで地元会員の宮崎稔氏から満願の湯から湧き出した水を沸かしたコーヒーの振る舞いを受けるサプライズがあり皆さんの顔も和んでいました。ここには関東ふれあいの道、将門伝説の興味あるコース説明の大きな看板が立っていました。



石間峠にて

石間峠から落葉を踏みながら 500m 程歩くと城峯山頂上に到着。頂上には一等三角点の設置があり、電波塔を兼ねた展望台からは関東近郊の山々を眺めることが出来ました。



両神山



武甲山

全員がマスクでの登頂、早くマスクなしで思いっきり深呼吸が出来る日が来ることを祈るばかりです。記念撮影後、登って来たルートを戻り全員無事に西門平に下山。皆野駅 16:20 解散。

面識の無かった会員同士のほのぼのした交流も生まれ、皆さん満足のご様子。

初冬の城峯山を楽しんだ忘年山行でした。



## 新年山行&ウエルカム山行 官の倉山

山行委員 中嶋信隆

1 年ほど前から 2021 年の新年山行を行う幹事役を命ぜられて、初の経験でもあることから相当のプレッシャーを感じておりました。

そしてその後の世界中を震撼させた新型コロナの蔓延もあり結果、昨年の 9 月まで埼玉支部の山行も自粛せざるをえませんでした。

新年山行は新たに新入会員の歓迎山行も加えて「新年山行・ウエルカム山行」となり、昨年末から本格的に準備を始めて、まず新年会会場と山の選定行いました。

ネットと山岳地図を見比べながら、食事会場と官の倉山まで決めて委員会の皆さんにご意見を伺いましたところ、賛同を得て予約をした次第です。

その後、新型コロナは全国的に一段と猛威を振るい今回の自粛宣言が出されるに至りました。最終的には参加希望者の方々の安全一番と考えて会食を無くして官の倉山登山だけで終了となりましたが、当日は最高の天候に恵まれ、春を思わせる暖かな中で落ち葉を踏みながら無事終了することができました。

参加された皆さんのご協力に心から感謝申し上げます。

実施日、参加人数、行程等詳細は下記の通りです。

1. 実施日：2021 年 1 月 16 日（土）
2. 場所：官ノ倉山（344.7m）
3. 参加人数：19 名（男性 14 名、女性 5 名）
4. 行程：9:00 東武竹沢駅集合→9:25 3 班に分かれ出発→9:50 三光神社→10:00 天王池（登山届提出）→10:30 官ノ倉峠→10:45 官ノ倉山山頂→11:30 山頂発→12:10 北向不動→13:00 八幡神社・新年安全祈願→13:20 晴雲酒造玉井屋→13:40 解散・小川町駅へ

以上





## 埼玉支部における山岳古道調査プロジェクト活動について

副実行委員長 松本敏夫

日本山岳会では創立 120 周年記念事業として、全国から 120 の古道を選定・調査し、最終的にHPへの掲載と書籍発行を実施します。事業の詳細は日本山岳会HP及び大山支部長が支部報 31 号に「全国山岳古道調査の対応について」を掲載しております。埼玉支部では令和 2 年 12 月に山岳古道調査プロジェクト（実行委員会）を立ち上げ、大山支部長を実行委員長、林事務局長を事務局に 20 名で実行委員会を組織しました。令和 3 年 3 月末までに埼玉支部の古道調査候補を選定し、日本山岳会の山岳古道 P J に推薦する予定です。

埼玉支部では候補古道として、①東山道武蔵路、②鎌倉街道、③慈光寺道、④子ノ権現道、⑤旧三峯山道（表参道を含む）、⑥秩父巡礼道、⑦秩父往還（雁坂峠周辺）、⑧十文字峠越、⑨旧中山道、⑩旧日光街道、⑪下妻街道、⑫仙元峠越（浦山～日原）、⑬龍穩寺の奥院・高山不動道街道（四寸道）、⑭中津川溪谷、⑮奥武蔵古道（里修験の峯入り）等が提案されております。日本山岳会の古道調査ですので山岳地域を含むコースが望ましいと考えられますが、最終的に候補古道として 5 コースを本部の山岳古道 P J に推薦する予定です。

日本山岳会の山岳古道 P J は令和 3 年末までに各支部が担当する古道を決定します。一方、埼玉支部では候補古道の中から予備調査が必要と考えられる古道の選定から開始し、順次調査を進め、令和 5 年 3 月末までに支部担当の古道調査を終了する計画です。

埼玉県立歴史と民俗の博物館の主任専門員兼学芸員の杉山正司氏と 2 月 20 日(土)に博物館で面談し、今後の古道調査の進め方についてアドバイスを頂きました。また、新型コロナウイルス感染症の猛威が終息すれば、山岳古道 P J 活動を広報するため、杉山正司氏を講師に一般の方々及び会員に対し、歴史・文化・地理的特性及び伝説に満ちた埼玉の古道に関する講演会を開催する予定です。

推薦する古道は出来るだけ埼玉らしい特色のある古道を選定する予定ですが、この機会に改めて秩父、奥武蔵、比企の山々の素晴らしさを再確認できると期待しております。支部独自の活動として古道や峠道に関する調査・記録を取集するとともに、できるだけ多くの会員の皆様の支援・協力や調査活動を通じて、支部活性化の一助になれば幸いです。埼玉支部の山岳古道調査 P J は、常時、実行委員会に協力・支援いただける会員を募集しておりますので、会員の皆様にはそれぞれの立場で、古道調査に積極的な参加をお願いいたします。

◆◆コラム◆◆

### 書籍の紹介

「山登りでつくる感染症に強い体」 斎藤繁著 ヤマケイ新書

※斎藤繁ドクターは、群馬大附属病院副院長、JAC 群馬支部会員・群馬支部健康登山塾長  
副題に「新型コロナウイルスへの対処法」とあるように新型コロナ感染症への対策を分かりやすく解説し、マイナーな里山歩きがいいことづくめだとおっしゃっています。大変参考になります。

**第 3 期埼玉やま塾 参加者募集中!**

**副支部長 高橋 努**

第 3 期はコロナ感染対策のため机上講習をオンライン講習としました。安心して参加できます。

主催 公益社団法人 日本山岳会埼玉支部

**2021年度 埼玉やま塾 第3期生募集!**

安全で楽しい登山のための第一歩、自立する登山者養成講座。ご自身で計画を立て、安全に登山を楽しめることを目指し、登山のプロが、最新の安全登山のノウハウをお伝えします。  
**知識はオンライン講習で（感染リスクなし）、実技は登山実技講習で学びます。**



↑↑↑  
埼玉やま塾  
ご紹介動画

講師・実技コーチ 平川陽一郎(公益社団法人日本山岳会埼玉支部会員)

(公) 日本山岳ガイド協会認定登山ガイドステージⅡ (公) 日本山岳ガイド協会正団体マウンテンガイド協会会長  
 危急時技術講習会指導員 日本ノルデックウオーキング協会認定インストラクター  
 \* 日本山岳会埼玉支部会員がサポートします

**オンライン講習 (ZOOM 利用・ご自宅で受講いただけます)**

第 1 回	5 月	18 日 (火)	山と平地の違い、歩き方と休み方、登山体操
第 2 回	6 月	15 日 (火)	登山用品と一般用品との違い、登山靴、ザック、雨具、ウエア
第 3 回	8 月	24 日 (火)	計画の組み方と事故防止対策
第 4 回	10 月	26 日 (火)	遭難事故の対処とセルフレスキュー

**登山実技講習 (現地集合・現地解散)**

第 1 回	6 月	6 日 (日)	大高取山 (歩き方と休み方の実践)
第 2 回	7 月	4 日 (日)	武甲山 (身支度と歩き方、休み方、下り方、ポールの使い方)
第 3 回	9 月	12 日 (日)	谷川岳・天神尾根コース(水分補給、呼吸法、岩場と鎖場通過)
第 4 回	10 月	16 日 (土) ~17 日 (日)	雲取山 (ロングコースの歩き方、休み方、山小屋の楽しみ方)

お申し込みは全 8 回コース一括申し込み

参加費は全 8 回 15,000 円 (オンライン講習 4 回、登山実技 4 回)

- \* 現地までの交通費、宿泊費、食費等は別途各自支払い
- \* お問い合わせ・参加申込先はこちら→ 公益社団法人日本山岳会 埼玉支部  
E-mail: [stm@jac.or.jp](mailto:stm@jac.or.jp) Tel 080-2256-4829 事務局長・林信行まで
- \* お名前、ご住所、電話、生年月日をお知らせください。  
(個人情報は登山届、保険加入のみに使用します。後日、払込票をお送りします)
- \* 申込締切は 4 月 30 日 但し、定員 15 名になり次第締切ります。  
登山を楽しみたい方、どなたでも参加できます。経験は問いません。



**ウエスタ川越・安全登山講習会のお知らせ**

埼玉支部では、川越市の事業としてウエスタ川越 (川越駅西口すぐの川越市複合施設) にて安全登山講習会を受託しています。講師は平川陽一郎会員、日程は 5 月 12 日、19 日、26 日 (いずれも水曜日) の 14:00~16:00 です。ウエスタ川越のホームページページなどをご覧ください。

## 竹内タミ子さんを悼む

会員 橋本久子

あまりにも突然のご逝去にまだ信じられない思いです。

1 月の初め私は義母が亡くなり夫の郷里の福山に帰っていました。そんな中で山仲間から「竹内さんが亡くなった、、、」という電話を受けびっくりしすぐ埼玉に戻り面会が許された 1 月 17 日に最期のお別れに行きました。

竹内さんに最後に会ったのは昨年 1 月 12 日の「富士山を描こう 新倉山浅間公園～勝沼盆地」のスケッチ山行です。コロナ禍で出かけるのも少なくなった中での企画で竹内さんにも久しぶりに会い、一緒に絵を描き、帰りも同じ車でずっとしゃべりっぱなしでとても楽しかったです。特に盛り上がったのは埼玉支部で行った海外山行のこと。台湾でもハワイでも同じ部屋で意気投合していました。

私と竹内さんは同じ福島県出身でよく気が合い、私は彼女の会津訛りが心地よくそれにもまして正義感が強く芯の通ったところが好きでした。年齢は一つしか違わないのにとっても落ち着いていてお姉さんっぽかったです。竹内さんは早くに日本百名山を制覇したあとで日本山岳会に入ったので埼玉支部とスケッチクラブでの活動は 5 年くらいです。



ホワイトトレッキング(中央のピンク：竹内さん)

スケッチクラブでは会計係を、埼玉支部では支部委員を務められ本当に一生懸命働いてくださいました。責任感の強い信頼できる人でした。もっともっと一緒に山に行きスケッチにも行きたかったです。

病気についてはよく分からないのですが、11 月のスケッチ山行の終わったころからそれまでも腰の痛みはあって気にはされていたようですがますます痛みがひどくなり、12 月に入って家の中で転倒されて川越の医療センターにいきそのまま集中治療室に入院されたそうです。出血が止まらない状態になり出血性ショックで亡くなられたと聞きました。1 月 10 日のことです。

「12 月には熊野古道を歩くのよ。」と車の中で嬉しそうに話していた竹内さんの声が蘇ります。最期のお別れに行ったとき枕元にご主人が彫られたという小さな手鏡ほどの大きさの仏像の御守りがありました。山に行くときはいつも持って行ったのでしょうか。この手作りの御守りを見たとき私は少しだけ心が安らぎました。竹内さんは家族から愛され本当に素敵な人生を送られていたんだなあと思います。

竹内さん、いつまでもあなたを忘れません。いつの日かまた一緒に山に登り山の話をししましょう。そして山に行くたびに真面目に絵を仕上げていた竹内さん、とても腕を上げていましたね。あなたの物事に向かう時の真剣さを忘れません。いろいろ教えてくださってありがとうございました。今はただ痛みを忘れてどうぞ安らかにお休みください。

## 竹内タミ子さんを偲んで

会員 朝井紀久子

お別れというものが、これほど突然訪れるものなのかと、しばらく愕然としてしまったのは、今年1月11日の朝の事でした。それは前日の竹内タミ子さんのご逝去を知らせる、ご家族からの訃報連絡でした。何故？ どうして？ 通知に対して返信を早く打たなければと思うのですが、手が震え、画面を見る目がにじみ、ぬぐってもぬぐっても文字が見えず。ただ、最後にお逢いした時のご様子が思い起こされました。あの時は、「良い人とお知り合いになれた。これからものんびりとお山をご一緒させて頂きたい」と思ったのを覚えています。

自己紹介が遅れましたが、私は2020年に日本山岳会に入会しました。スケッチにも興味があり、本部同好会アルパイン・スケッチクラブを検索で見つけたのがきっかけでした。副支部長の高橋さんと、事務局長の林さんから、同クラブの絵展のご紹介を受け、2月にその会場へ行くと、同じく埼玉支部に所属されている橋本さんと、そして竹内タミ子さんが会話をして下さいました。長い時間、楽しく会話して下さいるともほっとしたのを覚えています。

実は私は竹内タミ子さんとは、3回しかお逢いしておりません。支部やスケッチクラブの方々には、多く交流された方もおられ、この度の追悼文寄稿のお話を頂いた時は大変身にあまり恐縮でした。しかし支部の方から最近の交流の事もということでご依頼を受け、僭越ながら寄稿させて頂きました。

2回目にお逢いしたのは、月日も経った10月です。その前に、支部の林さんから「スケッチクラブでもある支部の竹内さんが巻機山に行きたいと言っているのだけど、一緒にどうですか？」とのご連絡を頂きました。とても嬉しいお誘いでした。この時はまだ竹内さんのお顔の記憶がぼんやりでした。でも、事前のメールやLINEのやり取りから、竹内さんのお人柄がどんどん伝わってきました。なんて素晴らしいお人なのだろうと。穏やかで優しい配慮、バランス感、さっぱりした前向きさ、切り返しのユーモアなど、とても大人な方だなあと感じ、同行させて頂けるのが有難く、山行がとても楽しみでした。



私は前日に元々予定だった別山行が入るかもしれず、巻機山山行をベテランのお二人に行程をお委ねするという甘えを持ってしまっていました。本来、山行の参加者は、立てられた予定から、色々予期し、考えねばならない所を、私は怠ってしまいました。結果としては、無事下山でき、全てに

感謝なのですが、私はこの後悔を決して忘れてはならないと心に刻みました。竹内さんはご年齢の事も考えると、寒い中、長時間粘り強く歩かれ、最後まで足取りがしっかりとっておられたことは、私は本当に心から敬服いたしました。また、山行中は危険な箇所が前半にありました。特に鎖場の鎖が朽ちて抜けていた箇所は、私がこれまでの拙い登山歴の中でですが、経験した事の無い恐怖を感じた場面でした。この傾斜場面では、指示を受けて私が先頭を進んでいましたが、この鎖欠損地点で躊躇した私は、下から上がってくるお二人に危険を知らせ指示を仰ぎました。次に上がってきた竹内さんが場を見渡し少し考え、林さんとも話され、少し横のルートを上がって行きました。そこも見た目には、この今考えても上がれないと思える足場でした。それを慎重ながらも次々と上がって行く竹内さんを見た時、「嘘でしょう?!」と思いました。先程までの長い沢渡りでは、とてもゆっくり最後尾を歩いていた竹内さんが、この場面では人が変わったように前に進んでいきました。技術と人間性をその時、とても感じました。林さんもそのルートを上がって行き、私も続いて上がろうとしたのですが、いくらでも滑り落ちる要素がありました。二人が上がったのだから上がる、でも同じことが出来る保証など無い。今、こうして無事でいるのですから、この時、切り抜けた事は言うまでもないのですが、全ては結果論となります。

私はこの山行では、全体としてとても多くの事を感じたのですが、竹内さんのその後の立ち振る舞いや交流の姿勢から、私にとってはそれらは全て深く活かされるべき学びとして昇華されました。竹内さんは、最後まで、そして山行後での交流の中でも、一切、人の事も自分の事も状況も、責めるということはありませんでした。自他一体。私はそれを体現しているお方と感じました。数日後の LINE では、「今となっては笑って話せるけど、今度、おちついたら、日和田辺りで反省会やりましようか?」「これからは少々の事じゃへこたれないぞという感じです(笑顔)」と竹内さん。しばしばよく有りがちなのは、感情のまま無配慮に「誰がこうだった、私が・・・だった、この場面はどうだった」あるいは、それに触れる事を避け、何事も無かったかのように引いていく、そういう事はよくある事と思います。でも竹内さんは、人生で色々経験する中で、こうした心の持ち方と交流の仕方をお持ちになられたのだと私には感じました。私は学ぶべき人と出逢えたと思いました。

長く暗い下山路、最後の集中と気力を保つ中で、私は明るく元気になれるよう精神賦活の為に雑談をしばしばして、それに竹内さんも応じて下さいました。その中で、ご家族の話も沢山ありました。ご主人は仏像の木彫りをされておられると、前泊の時からもお話されておりました。私は「そんなご主人がおられるのですから、竹内さんは今、絶対に神仏に守られていますね」と私が心底言うと、竹内さんは「そうかもしれないね～」と笑っていました。娘さん息子さんのお話もされました。本当によくある、お母さんが子供の事を話すような内容です。私は「素晴らしいじゃないですか」とこれも心底言うと、「そんな事言うの、朝井さんくらいよね」とこれまた笑って言っていました。そんな笑い話の中で、ふと「もうこれからはのんびり里山とかに行こうかなと思う。冬山とかは行かないと思うから、良かったら冬山の道具、貰ってもらえないかしら?」と言われました。

この山行後、竹内さんは、いくつかの山行を、スケッチクラブやご友人とで行かれたようでした。竹内さん林さん私の3人は、何となくそのままグループ LINE が繋がっていました。暫くして竹内さんが腰痛が辛くなってきたというセリフが出てきました。また、私に「冬山道具、いつ取りに来れる?」とも尋ねてきました。何か随分急いでおられる感じがするなと思いましたが、お約束をして、11月下旬にご自宅へ受け取りに伺いました。これが竹内さんとお会いした3回目であり、そし

て生前にお会いできた最後の日となるとは、この時は全く思いもしませんでした。玄関まで出迎えて下さいましたが、腰は少し辛そうでした。この日、後で支部の東さんのお店へお茶をご一緒に、とお誘いしたのを竹内さんに断られた理由が、その腰の様子でよく分かりました。この時は数日間、接骨院に通われていたようでした。数日後の自然保護委員会の大高取山山行を代わりに参加して欲しい、と言われました。そして、冬山道具を有難く頂戴し、また先日の山行時にお話されていた優しいご主人とそして娘さんにもお逢いでき、ほっこりしたご家族との交流と共に、ご自宅を後にしました。

その後、LINE で腰痛が芳しくなく、「痛いまま原因不明で、明後日、医療センターに行く。骨の病氣らしいです」というメッセージが 3 人での LINE にあり、それがご本人からの最後のメッセージとなりました。その後一向に LINE が既読にならず、ご家族へ林さんから確認して頂いた所、集中治療室に入られたとの事で、一体何が起きているのだろうか?! と心配になりました。年が明け、ふと朝に、本当に久しぶりに竹内タミ子さんの名で LINE が来たので、飛び起きて食い入るように見ると、それはタミ子さんの訃報を知らせるご主人からの文面でした。愕然としました。数日間だけご自宅にご本人が戻られるとの知らせを受け、後日伺いました。タミ子さんはご自宅で転倒をされ、あの 12 月の最後の LINE メッセージの翌日に緊急入院されたようで、そして出血が止まらない状態になり出血性ショックで亡くなられたとの事でした。そんな事が起きていたのかと思いつつ、転倒に至る前に、腰が痛くなり、またその要因には、あの山行で体を冷やしたのもあるのでは無いか…。私はとにかくご家族に謝りたい、その一心で額を床に着いて、「大切な人を」と、後は何も言えなくなってしまいました。でも、そう言う直前にも、そこにいるタミ子さんから、こう言われている、言われる気がしました。「そんな事言うものじゃないよ」。タミ子さんなら絶対にそう言うだろうと思いました。自他を決して責めないお人。それは分かるのですが、ご家族のお気持ちを思うと、どうしても言いたかったのです。ご主人も、タミ子さんにとって楽しく明るい友人であって欲しいと思って下さっていることが、とても伝わってきました。私の勝手な感覚ですが。なので最後は、笑ってご挨拶いたしました。娘さんと息子さんもおられました。タミ子さんが沢山お話して下さいました。優しく笑顔でお話して下さいました。

山道具を貰って良かったね、と言って下さる方もいて、本当に有難くそう思いますが、私は、「朗らかにそして安全に山に登る」、その大切さをタミ子さんから預かったと思っています。その両輪をしっかり持ちたいと思います。

長い文面で大変失礼いたしました。竹内さんは 50 歳頃より登山を始められ、主にツアー山行に参加されながら日本百名山を全て登頂され、その後に日本山岳会に入られたとのことです。先日スケッチクラブの方でもご交流のあった橋本さんがそちらで追悼文を寄稿された中で、私もお人柄などを多く知りました。埼玉支部とスケッチクラブでの活動は 5 年くらいで、埼玉支部では支部委員を、スケッチクラブで会計係を務められ、責任感をもって一生懸命働いてくださったと伺っています。海外の多くの山にも行かれていたお話もご本人から教えて頂きました。ずっとそれらのツアーも共にされてきたご友人のお話もタミ子さんがされていましたが、今、そのご友人もさぞお寂しいこととお察しします。今この瞬間の、時や人の大切さを改めて知らされた思いです。

今、この文章を作成最中に、偶然ご主人から、七七日(49日)法要と納骨を済まされた、とのご一報メールが入りました。この文章はご一緒に書かせて頂いたのだなと感じました。ありがとうございました。

日本全国温泉巡り（栃木県）第 3 回

会員 早川好治(泉舟)

【栃木県】

那須連峰は茶臼岳から最高峰の三本槍岳を登り朝日岳を経るコースが一般的です。途中、三斗小屋温泉に泊まるか、下山してから川をせき止めた露天風呂の大丸温泉か、プールのような大露天風呂がある北温泉に宿泊すればより快適な旅になります。

また、那須湯本温泉には高温の鹿の湯共同浴場もあります。

柳沢鉱泉は那須別荘の多い地域にある静かに過ごせる小さな旅館です。

馬頭温泉郷小砂温泉「ホテル美玉の湯」は、天然ラドンを含み、肌がツルツルになり、飲泉も可能です。また近くにある喜連川温泉「早乙女」の湯も素晴らしい。

塩原温泉郷は川沿いに多数の露天風呂が湧いています。

大きな手作り餃子が美味しい矢板の小滝鉱泉に泊まり、翌朝幻の滝で有名になった「おしらじの滝」を見に行ったのですか、残念ながら滝に水が流れていませんでした。

また近くに寺山鉱泉、赤滝鉱泉もあります。

日光の男体山は中禅寺湖から登ると展望が良いのですが、ガレ揚が多くで大変です。裏の志津小屋からは楽に登れます。中禅寺温泉に泊まり、翌日東照宮見学がお勧めです。

日光白根山も眺めの良い白濁の日光湯元温泉側から登るときついです、群馬県側からロープウェイを利用すればハイキングです

川俣温泉「仙心事」の露天風呂からは間欠泉が見られます。

平家平温泉「御宿こまゆみの里」の露天風呂は、巨木をくり抜いた心地好い湯船です。奥鬼怒温泉郷入口にあった女夫淵温泉は露天風呂が 12 個もありましたが、残念ながら廃業しました。

入口から徒歩約 80 分で滝見の露天風呂がある八丁の湯に着きます。

その奥に白濁で人気の加仁湯温泉があります。

また素朴な日光沢温泉から湿原の鬼怒沼を通って尾瀬にも行けます。

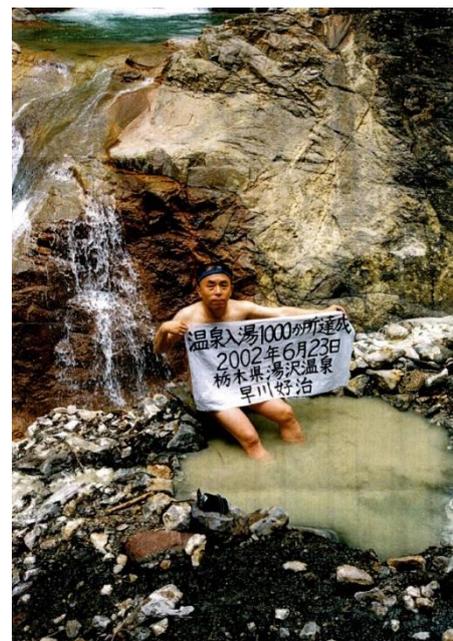
最奥の手白沢温泉ではフランス料理が食卓を飾ります。

さらに徒歩 3 時間で自然湧出の野天風呂がある湯沢温泉の噴泉塔（特別天然記念物）に

行けます。僕はここで 2002 年 6 月 23 日に温泉 1000 カ所入湯を達成しました。

（現在 1987 カ所入湯）

コウシンソウの咲く庚申山で、熊の親子を見ましたが、川の反対側でしたのでほっとしたのを思い出しました。登山口に足尾温泉があり、足尾銅山も見学できます。



1 「山の本棚」シリーズ

会員 小原茂延

深田久弥 (その1)

作家、登山家、随筆家



「日本百名山」

1959(昭和 34 年)から雑誌「山と高原」(朋文堂)の 3 月号より連載開始、百名山を書こうとしたのは古く、昭和 15 年に遡る。当時は案内書的だったものを、紀行を中心に歴史や文学を加える内容に改めたという。



年譜(深田久弥山の文学全集)

1903 石川県江沼郡大聖寺町字中町  
生まれ

1914 富士写ヶ岳(942m)登山

1918 白山登山

1922 第一高等学校入学

田部重治の「日本アルプスと」秩  
父巡礼」を読み耽った。

燕～常念～槍,上高地に感動

1923 木庭志げ子を見染めた。

1924 国師,黒金山(浜田和雄ら)

1926 東大文学部哲学科入学

1927 在学で改造社編集部勤務

1929 小説「津軽の野づら」

我孫子に住む(北畠八穂と)

1932 鎌倉町大塔宮前に転居

1935 日本山岳会入会(1586)

1941 木庭志げ子と再会

鎌倉文士俳句会「九山」俳号

1944 応召 金沢入隊 支那転戦

1946 復員 浦賀上陸 越後湯沢

1947 郷里大聖寺に移る

1951 金沢市御歩町に転居

「山と高原」誌に連載中から毎回楽しみで夢中で読んだ記憶が懐かしい。この編集担当だったのが大森久雄氏である。「百名山紀行」(ヤマケイ文庫)監修で書いているように 1 回に二山、一山について 400 字詰め原稿用紙 5 枚で行くと深田が言っていたという。

単行本となった初版を求めたが、上掲写真左にある新装版が版型、装丁が気に入っている。深田の先達も多く名著を残しているが、いわゆる作家ではない。つまり文章の構成がよく、叙述が練られているのであり、そこに名山としての歴史、地域の持つ風格を包容し、何より自分が登った感慨が織り込まれている強みがある。この辺が文士だった面目躍如といったところだろう。

深田が後記として書いている。「私の選定には異論もあろう。・・・私に自信を持たせてくれたのは、五十年に近い私の登山歴である。そして選定の基準三つを挙げている。第一は「山の品格」第二に「山の歴史」そして第三が「山の個性」付加条件として大よそ 1500 米以上という条件にかなった山(一部例外あり)であった。

1952 エルゾーグ「アンナブル ナ  
最初の八千米」に感動  
・初めて諏訪多栄蔵と対面する  
1953 「岳人」にヒマラヤの連載  
1955 東京都世田谷区松原転居  
1958 ジュガール、ランタンヒマー  
ル踏査(山川,風見,古原)  
1959 「日本百名山」連載開始  
以後 山行最多  
1960 本小屋「九山山房」建つ  
1961 ウェストン祭講演「山格」  
1962 ヒマラヤ宗徒の松原詣で  
1964 『日本百名山』出版記念会  
尾崎喜八・井上靖・新田次郎他  
1965 第 16 回読売文学賞受賞  
1966 シルクロード踏査隊隊長  
ニペソツ山(8月)秋田駒(11月)  
1968 日本山岳会副会長に就任  
三田幸夫会長,吉沢一郎副会長  
未丈ヶ岳(3 度目にして登頂)  
1969 ニューゼaland旅行  
1970 蛇埤山 12/31 藤島敏男他  
1971 茅ヶ岳にて脳卒中で死去

□エピソード

〈遭難他〉深田が書いているように、「百を選ぶ以上、その数倍の山に登って見なければならぬ。・・・」とあるだけに、少年時代から多年の登山に遭難もある。

1. 八ヶ岳硫黄岳 1926.5 東大文学部 1 年 23 歳  
一高時代後輩の吉村・山崎に乞われ同行 吉村恭一が滑落死亡、駆けつけた吉村の父に涙して謝罪した。
2. 会津駒ヶ岳 1935.6 単独 32 歳 下山中、未知の沢を下って 3 時間余の悪戦苦闘、疲労困憊するも自力下山したが檜枝岐の宿の主人曰く、もう一つの沢を下りたら助からなかっただろう。(早稲田高等学院生がその数年前に遭難死亡地)
3. 光岳 1935.8 同行は田辺和雄、ガイド  
雨で停滞、この間、遭難の誤報が流れて作家仲間の小林秀雄、今日出海らが心配した。

〈鎌倉在住時代〉

・鎌倉大塔宮近く二階堂(紅葉で知られる獅子舞谷近く)に最初の妻、北畠八穂と住んでいた頃(1942)、夫人が土曜さんと呼ぶ、次代の文学青年、中島敦が「李陵」

「山月記」などを託して南方へ立った後、失念して数ヶ月も棚に置いたままにしていた。その後気付いて「文学界」で紹介したことから中島敦の名作が世に出た。

・鎌倉在住の俳人 高浜虚子の句会にも参加していたので、応召の際に餞(はなむけ)の句を受けた。

“梅凜々し九山少尉応召す”

家族

妻 志げ子(旧姓 木庭)

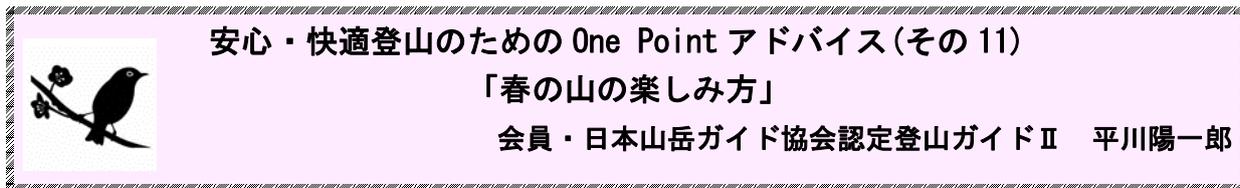
作家仲間後輩であった中村光夫(本姓 木庭)の結婚式で再会、かつて西片町で見染めた久弥逝去の 7 年後事故で他界

長男 森太郎 (しんたろう 1942 生れ) 日経新聞勤務後ビジネス学校教師

次男 沢二(たくじ 1948 生)

教師 2018 病死





春の山と書くだけで、心が浮き立つ 1 年で一番楽しい季節の到来です。

残雪の春山は、厳冬期の山に比べ気温は高く日照時間は長く営業小屋もあり、手軽に積雪期登山が楽しめます。静かな残雪の山歩きを楽しみたい方は、北横岳から天狗岳までの通年営業小屋のある北八ヶ岳はお勧めです。

お花が目当ての方は、2月の長瀨アルプス宝登山の蠟梅から花のシーズンイン！近郊のお花見ハイキングが始まります。3月は三浦アルプスで海を眺めつつ桜のトンネル歩きも乙なものです。そして新緑の山歩き、冬枯れの山から木々も装いを新たに、緑が眩しい新緑の山歩きも楽しめます。鬼滅の刃ブームで人気のある雲取山登山にも良い季節です。

この時期お休みしていた方は、登山身体を取り戻すべく先ずはウォーキングからと言う方も、夏のような暑さもなく、冬の寒さもなく歩き易い良い季節です。今年のNHK大河ドラマに沿って、渋沢栄一ゆかりの地巡りも良い季節です。

もちろん、稜線との温度差、日照時間の短さ、天候が荒れると冬に逆戻り、少ない営業小屋、足跡の消え易い残雪の道など春ならではのリスクもあります。装備と服装をしっかり準備し、計画書をオンラインで提出し自宅に置くなど対策をお忘れのない様にしてお楽しみ下さい。



**新入会員 自己紹介**

**事務局長 林 信行**

《安齋久美子さん 会員番号 16694》

徐々に寒さが和らぎ、様々な開花の便りが届くようになり、余計にもどかしさを感じる日々ではありますが、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。この度入会をさせて頂きました安齋と申します。私はこれまで単独での登山を行っていましたが、ある時から登山に対してもう一步深く知ってみたいという思いが募って、スポーツ用品店等で主催している講習会に参加するようになりました。しかしその場限りになってしまうことが多く、やるならば長い時間をかけて信頼出来る場所で様々なことを身に付けていきたいと考え、入会を希望した次第です。たくさんの経験や知識、知恵を皆様から思う存分吸収させて頂き、皆様と少しでもたくさんの山を楽しむことができればと思っております。ご指導ご鞭撻のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

**2021 年度 公益社団法人日本山岳会 埼玉支部年間予定表**  
 事務局長 林 信行

月	日・曜日	担	摘 要	場 所	開始時間
4 月	10 日 (土)	支	埼玉支部総会・懇親会	埼玉会館	13:30
	14 日 (水)	支	第 1 回支部委員会	浦和コミセン	18:30
	18 日 (日)	山	月例山行 (清掃登山)	笠山～堂平山 (バス)	
	24 日 (土)	山	岩トレ	平戸の岩場	
	29 日 (木)～30 日 (金)	自	森づくり研修会&観察会	高尾グリーンセンター	
5 月	7 日 (金)	山	平日山行	鳴神山	
	12 日 (水)	支	①ウエスタ川越 安全登山技術講座	ウエスタ川越	14:00～16:00
	12 日 (水)	支	第 2 回支部委員会	浦和コミセン	18:30
	18 日 (火)	支	①埼玉やま塾 (オンライン講習)		19:00
	19 日 (水)	支	②ウエスタ川越 安全登山技術講座	ウエスタ川越	14:00～16:00
	22 日 (土)～23 日 (日)	山	四季の山・春山 (百名山)	南アルプス 鳳凰三山	
	23 日 (日)	自	第 8 回大高取山自然観察会 (春)	大高取山	
	26 日 (水)	支	③ウエスタ川越 安全登山技術講座	ウエスタ川越	14:00～16:00
6 月	5 日 (土)	安	安全登山講習会	飯能市・天覧山	9:30～雨天中止
	6 日 (日)	支	②埼玉やま塾 (登山実技講習)	大高取山	
	9 日 (水)	支	第 3 回支部委員会	浦和コミセン	18:30
	12 日 (土)～13 日 (日)	山	月例山行 (百名山)	巻機山 (民宿雲天泊)	
	15 日 (火)	支	①埼玉やま塾 (オンライン講習)		19:00
	15 日 (火)	広	『第 33 号 彩の山 埼玉支部報』発行		
	19 日 (土)～20 日 (日)	山	百名山	焼岳 上高地山研宿泊	
7 月	4 日 (日)	支	④埼玉やま塾 (登山実技講習)	武甲山	
	9 日 (金)～11 日 (日)	山	四季の山・夏山	岩手(南本内岳・真昼岳)	
	14 日 (水)	支	第 4 回支部委員会	浦和コミセン	18:30
8 月	未定	山	百名山	北海道 (羅臼岳・斜里岳・阿寒湖)	
	未定	山	10 周年記念海外ツアー	スイス・シャモニイキング、モンブラン登頂	
	18 日 (水)	支	第 5 回支部委員会	浦和コミセン	18:30
	24 日 (火)	支	⑤埼玉やま塾 (オンライン講習)		19:00
9 月	4 日 (土)	山	沢登り (平川ガイド同行)		
	8 日 (水)	支	第 6 回支部委員会	浦和コミセン	18:30
	12 日 (日)	支	⑥埼玉やま塾 (登山実技講習)	谷川岳	
	18 日 (土)	山	月例山行	茅ヶ岳	

月	日・曜日	担	摘 要	場 所	開始時間
10 月	2 日 (土) ~ 3 日 (日)	山	四季の山・秋山 (百名山)	甲斐駒ヶ岳・仙丈ヶ岳	
	13 日 (水)	支	第 7 回支部委員会	浦和コミセン	18:30
	16 日 (土) ~ 17 日 (日)	支	⑦埼玉やま塾 (登山実技講習)	雲取山	
	20 日 (水)	安	安全登山講演会	浦和コミセン	19:00~21:00
	24 日 (日)	自	森づくり&観察会	さいたま緑の博物館	
	26 日 (火)	支	⑧埼玉やま塾 (オンライン講習・高妻講師)		19:00
11 月	3 日 (水)	社	大久保春美記念 第 11 回ふれあい登山	未定	
	6 日 (土) ~ 7 日 (日)	山	月例山行	三重 御在所岳	
	10 日 (水)	支	第 8 回支部委員会	浦和コミセン	18:30
	11 日 (木)	山	平日山行	箱根・神山・駒ヶ岳	
	15 日 (月)	広	『第 34 号 彩の山 埼玉支部報』発行		
	28 日 (日)	自	第 9 回大高取山自然観察会 (秋)	大高取山	
12 月	8 日 (水)	支	第 9 回支部委員会	浦和コミセン	18:30
	未定	山 総	忘年山行・忘年懇親会	未定	
1 月	12 日 (水)	支	第 10 回支部委員会	浦和コミセン	18:30
	未定	山	新年山行+新入会員ウエルカム山行		
	22 日 (土)	安	安全登山講演会	未定	13:30~15:30
2 月	9 日 (水)	支	第 11 回支部委員会	浦和コミセン	18:30
	未定	山	四季の山・冬山		
3 月	9 日 (水)	支	第 12 回支部委員会	浦和コミセン	18:30
	15 日 (火)	広	『第 35 号 彩の山 埼玉支部報』発行		
	27 日 (日)	自	「埼玉の自然を知ろう」シンポジウム		
	未定	山	月例山行		

2022年度

4 月	9 日 (土) 予定	総	埼玉支部総会・懇親会	埼玉会館予定	13:30
--------	------------	---	------------	--------	-------

- 1) 凡例：支→支部委員会 山→山行委員会 安→安全登山委員会 自→自然保護委員会  
社→社会貢献委員会 広→広報委員会 総→総務委員会
- 2) 原則定例会議日：支部委員会 →毎月第2水曜日 18:30 浦和コミセン  
山行委員会 →偶数月第1月曜日 18:30 浦和コミセン  
自然保護委員会→毎月第2月曜日 18:00 浦和コミセン  
安全登山委員会→奇数月 第1火曜日 浦和コミセン  
社会貢献・広報・総務の各委員会→不定期
- 3) 埼玉支部年度予定は、変更もありますので事前にHP・各委員会に確認・お問合せ下さい。

## 事務局からのお知らせ

事務局長 林 信行

## 埼玉支部会員 在籍者数及び異動

2021年3月1日現在

会員	126 名	準会員	11 名	計	137 名
----	-------	-----	------	---	-------

## 【入 会】

会 員			準会員		
16694	安齋 久美子	12 月			
		月			

## 【退 会】

会 員			準会員		

## 編集委員を募集します



『彩の山 埼玉支部報』の編集に携わっていただける方を募集します。

支部報は支部の大切な歴史にもなり、会員同士の大切なコミュニケーションの発信基地でもあります。是非、益々内容充実した支部報になりますよう、ご協力をお願いします。

(ご関心ある方は是非事務局までご連絡お待ちしております。)

## 【編集後記】

『彩の山 埼玉支部報第 32 号』は、今まで編集に携わっていただいた竹内タミ子会員のご逝去により、急遽、高橋副支部長が担当しました。

時間が少ない中、ご寄稿いただいた皆様、大変有難うございました。

前号より埼玉支部報は故竹内会員の「彩の山」が選ばれ命名されましたが同時に突然旅立たれてしまったのはいまだに信じられません。

表紙を飾る絵もスケッチクラブ会員であった竹内会員の作品です。

竹内タミ子さん、どうぞ安らかにやすみください。(N)

公益社団法人日本山岳会 埼玉支部報 第 32 号 2021 年 3 月 15 日発行

発行者：公益社団法人日本山岳会 埼玉支部 支部長 大山光一

事務局：350-0201 埼玉県坂戸市赤尾 1910 林信行方

電 話：080-2256-4829 Email: stm@jac.or.jp

埼玉支部ホームページ：http://www.jac.or.jp/saitamasibu/index.html